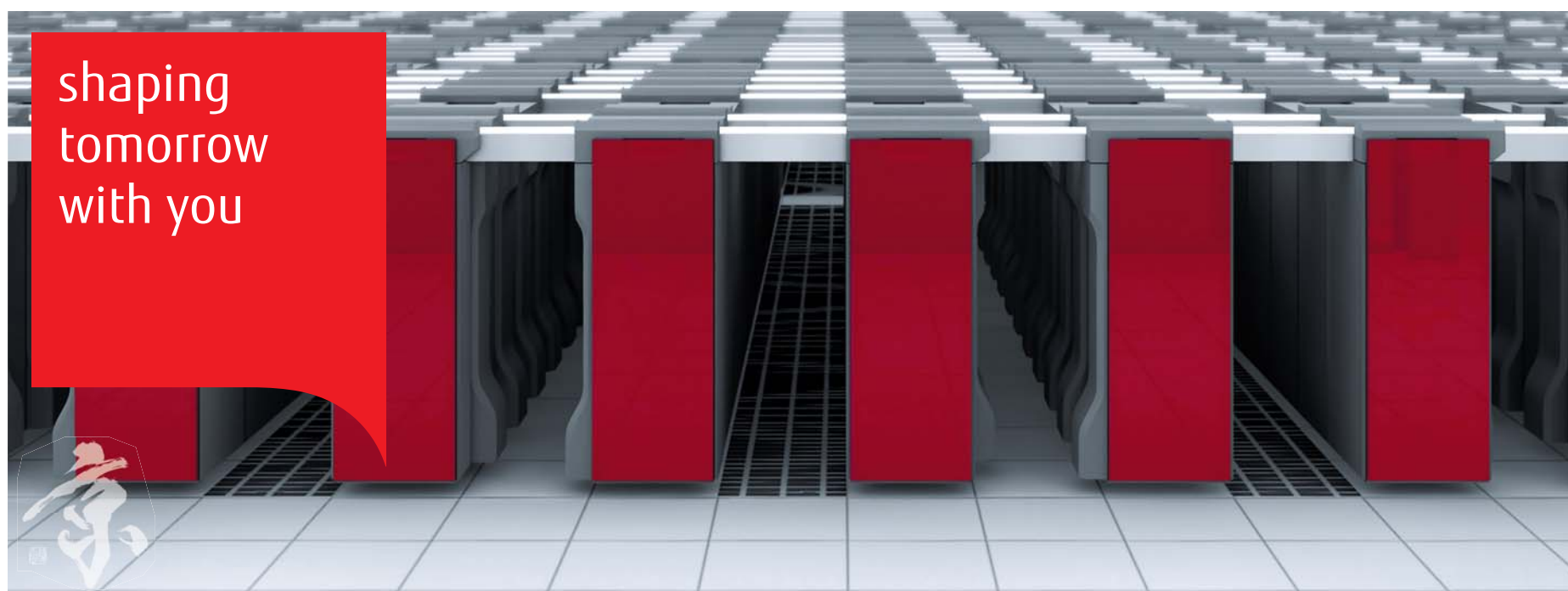


世界一を、 日本の力に。

2011年6月20日、理化学研究所と富士通が共同で開発に取り組んでいる次世代スーパーコンピュータ「京(けい)」*¹が、計算スピードで世界1位*²を獲得しました。プロセッサをはじめとする主要部品の開発からシステムの製造まですべてを日本国内で行った「京」は、東日本大震災の影響を受けながらも製造に尽力いただいた東北地方の協力会社の皆様をはじめ、日本のものづくりを支える人々の総力の結集です。2012年の完成時には1秒間に1京(1兆の1万倍)回という高い計算能力を達成し、地球環境、エネルギー、防災・減災、医療、ものづくりなど、人類が直面するさまざまな問題の解決に活躍することが期待されています。日本の未来、そして地球の未来を信じて—富士通は、スーパーコンピュータの開発を通じて豊かで夢のある社会の実現に挑戦し続けます。

次世代スーパーコンピュータ「京」*¹、世界No.1獲得



*¹「京」は、理化学研究所が使用している「次世代スーパーコンピュータ」の愛称です。

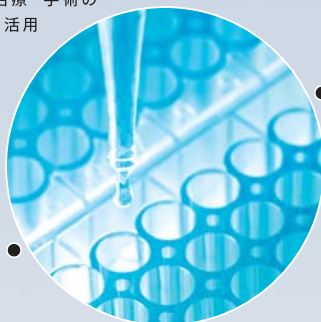
*²「TOP500」(2011.6.20発表)の最新ランキングで第1位。「TOP500」は世界のスーパーコンピュータの計算スピードを「LINPACK」と呼ばれるプログラムで測定し、上位500位までを決定するもので、毎年2回、6月と11月に最新順位が発表されます。

世界一を、 日本の力に。

FUJITSU

医療・新薬開発

新薬の開発や、最適な治療・手術のシミュレーションなどに活用



防災・地球環境問題

地球温暖化や自然災害を防ぐための分析、建物の強度の分析などに活用



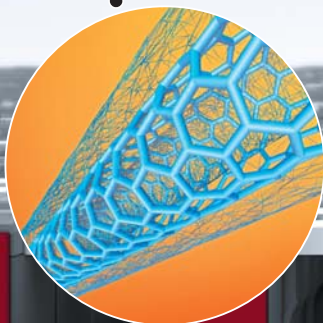
宇宙の解明

宇宙に存在する未知なる物質の発見や宇宙の謎の解明などに活用



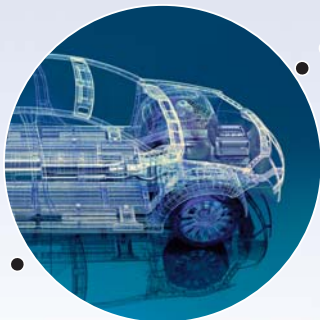
新エネルギー・新材料開発

環境負荷の少ないエネルギーの開発や材料開発などに活用



最先端の製品開発

より安全性の高い航空機の開発や事故による衝撃を最小化する自動車開発などに活用



資源、環境、医療…数多くの問題を抱えている現代社会。その問題解決の重要な鍵を握っているのがスーパーコンピュータです。コンピュータ上の計算によってさまざまな現象を再現するコンピュータシミュレーションは、理論、実験に次ぐ第3の科学といわれ、あらゆる研究開発に利用されています。たとえば、より安全な運行を可能にする自動車、航空機のデザインや、革新的な医療品、治療方法の

開発。また、ナノ・テクノロジーによる新材料の開発、地球温暖化や自然災害を防ぐための研究、宇宙の謎を突きとめるための研究など、私たちの未来を担う高度で複雑なシミュレーションは、スーパーコンピュータによって可能となっているのです。次世代スーパーコンピュータ「京(けい)」^{*1}の計算スピード世界一獲得^{*2}をさらなる原動力に、富士通は豊かで夢のある社会の実現に挑戦し続けます。

次世代スーパーコンピュータ「京」^{*1}、世界No.1獲得

*1「京」は、理化学研究所が使用している「次世代スーパーコンピュータ」の愛称。理化学研究所と富士通が共同で開発し、2012年6月に完成する予定です。 *2「TOP500」(2011.6.20発表)の最新ランキングで第1位。「TOP500」は世界のスーパーコンピュータの計算スピードを「LINPACK」と呼ばれるプログラムで測定し、上位500位までを決定するもので、毎年2回、6月と11月に最新順位が発表されます。

夢をかたちに

shaping tomorrow with you